

# 南第1高齢者支援センター ニューズレター

令和元年 10月11月号 偶数月発行

ご近所ミーティング拡大版！

『救急の時のそなえとは？』を開催しました。



自見隆弘 院長

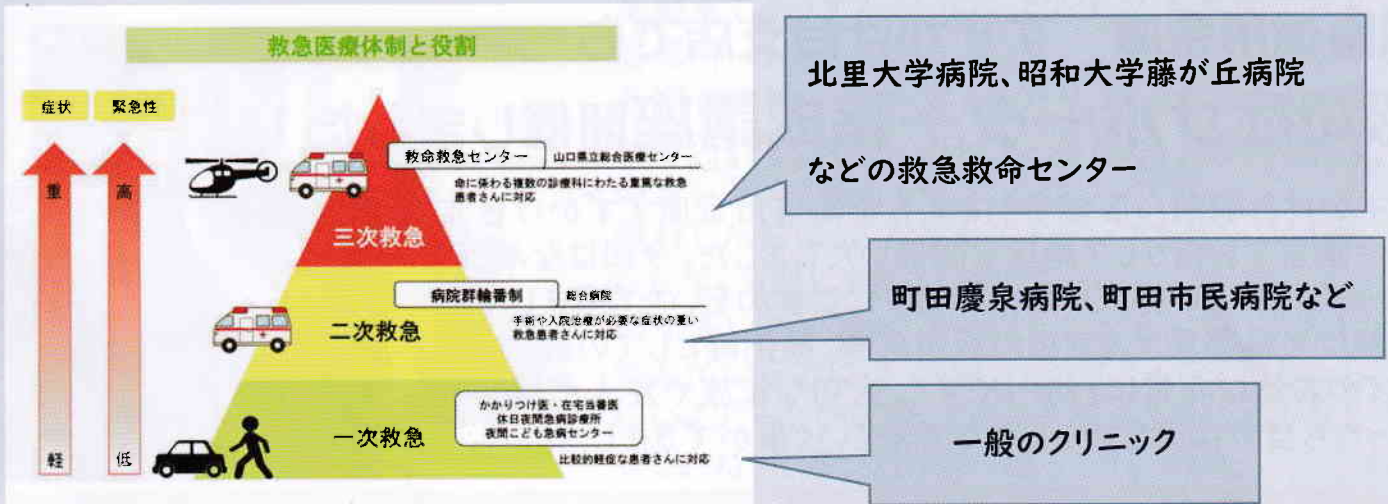


高齢者支援センターでは地域の皆様から

『一人暮らしだけど急に病気になったらどうしよう』

『日頃どんな備えをしておいたらいいの？』など救急についてのご相談をいただく機会が増えております。そこで、町田慶泉病院院長の自見先生をお招きし、救急搬送についてや、患者側として日頃確認しておくことについてご講演いただきました。

先生からは、一次救急、二次救急、三次救急の違いや体調が悪化、気になる時にポイント、ケアマネジャーや介護職におくても気を付けてみてほしい点など幅広くご講義いただきました。



◎救急車を呼ぶべきか？病院に行くべきか迷ったら？

(当日資料より)

# 7 1 1 9

電話でもネットでも！  
24時間 365日相談可能。

講義後は、参加者約 70 名がグループになり、①日頃備えていること、②自見先生に聞いてみたいこと について意見交換をしました。皆様、『お薬手帳や診察券はまとめておく』『冷蔵庫に緊急時の治療をどこまで希望するか書いておく』など日頃から気を付けている点などのご意見をうかがいました。

なお、講義で出た質問やご意見は、改めて別紙にてご報告させていただきます。